

ターゲット 4.3 2030 年までに、すべての人々が男女の区別なく、手の届く質の高い技術教育・職業教育及び大学を含む高等教育への平等なアクセスを得られるようにする。

ターゲット 4.4 2030 年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。

職業訓練校建設・運営

アフリカ ルワンダ

学校名	ニューホープ技術専門学校
開校年月	1996 年 2 月
校舎建設完成年月	1998 年 7 月
新築学校開校年月	1998 年 8 月
教育内容	洋裁、理容・美容、料理の技術コース。各コースとも英語、フランス語、道徳、経営学の授業が必修。教育期間は 1 年間で卒業前に学外実習を 3 ヶ月間実施。
卒業生総数	2,417 人

概要

内戦終結後の復興を支援するため、女性が経済的に自立できるように、技術教育を目的に 1996 年、首都キガリ市に開校した。2000 年から少数の男子生徒も受け入れている。

2007 年より世界銀行の支援プロジェクト「除隊兵士社会復帰のための職業訓練」推進校に推薦され、除隊兵士を受け入れていた。

料理コースと理容・美容コースの卒業生の就職率が他のコースに比べて高い。

1999 年より里親制度を導入し、学業継続が困難な生徒を支援している。

技術とノウハウを生かして、自分でビジネスを立ち上げ、成功している卒業生もいる。

毎年保護者会を行い、学校運営や雇用推進に対する理解を求めている。

2015 年より日本の青年が美容コースのマッサージとネイルを指導している。

進展状況

【2017】

- 10 月 16 日～ 11 月 2 日、美容コース卒業生と在校生を対象にタイ式マッサージセラピスト田中晴菜さんが特別マッサージを指導。ネイリストの田中みのりさんはネイル



マッサージの指導

を指導。修了者には、修了証を授与した。

- 10 月 28 日、5 人の里子の家庭訪問を行い、現状を把握した。
- 2017 年度卒業式を 2018 年 2 月 9 日に開催し、103 人が卒業。卒業生の就職率は 43%。(2018 年 3 月現在)
- 生徒数

洋裁	理容・美容	料理	合計
41	42	37	120

【2018】

- 10 月 16～25 日、ルワンダ視察ツアーを行い、WFWP 日本より 19 人の会員が参加した。
 - ・ニューホープ技術専門学校視察
 - ・6 人の里子の家庭訪問
 - ・ルワンダ・日本兄弟姉妹結縁式参加
 - ・ガクバ上院副議長とのミーティング
 - ・観光：屠殺記念館、アカゲラ国立公園でサファリ、王宮博物館、国立民族学博物館
- 10 月 19 日、「ニューホープ技術専門学校創立 20 周年記念式典」を開催。ジェンダー・家庭推進省大臣代理、駐ルワンダ日本大使、キガリ市長代理、日本からのツアー参加者など約 200 人が参加。ルワンダ国営放送でもニュースとして放映された。先生・生徒・卒業生が学校で培った能力を思い切り発揮して準備し、盛大に祝賀することができた。
- 開発雇用局 (WDA) より、コンピュータークラスの設置が義務づけられ、週 4 時間の授業を開始した。
- 2018 年度卒業式を 2019 年 2 月 8 日に開催し、83 人が卒業。
- 卒業生の就職率は 54.2% (2019 年 3 月現在)
- 現在、卒業生に対する未就労者の割合が 60%。この問題の解決のため、学外実習センター建設を開始することが決定した。
- 生徒数

洋裁	理容・美容	料理	合計
39	28	25	92



上院副議長と共に



ガーナ

【対象】 ガ地区アマサラム地域・アクラ市・アクラ市郊外の小中高生
 【支援期間・金額】 学費・制服・くつ・文房具の費用として毎年 12,000 円を小中学生に支援。授業料として 50,000 円を高校生へ支援。1 年ごとに見直し。
 【開始年度】 2002 年 1 月
 【里子数】 (2017) 54 (2018) 51
 【里親数】 (2017) 55 (2018) 55



ギニア・ビサウ

【対象】 ソナック小学校の児童、ソナック中学校の生徒
 【支援期間・金額】 毎月 3,000 円または 1,000 円
 【開始年度】 2001 年 1 月
 【里子数】 (2017) 43 (2018) 41
 【里親数】 (2017) 43 (2018) 41



ケニア

【対象】 ハンドウ中学校・高校の生徒
 【支援期間・金額】 1 年間 15,000 円。1 年ごと更新（希望があれば継続）。
 【開始年度】 1998 年 5 月
 【里子数】 (2017) 40 (2018) 40
 【里親数】 (2017) 19 (2018) 18



赤道ギニア

【対象】 モトコ・シロマ幼稚園・小学校とピラール・モモ幼稚園・小学校他数校に通う 5～15 歳（幼稚園～小学 6 年生）の生徒
 【支援期間・金額】 1 年間の授業料（学用品含）10,000 円の支援
 【開始年度】 2002 年 10 月
 【里子数】 (2017) 100 (2018) 107
 【里親数】 (2017) 95 (2018) 92



マラウイ

【対象】 優秀だが経済的な理由で学業継続が困難なムズズ大学保健科学部の看護学生
 【支援期間・金額】 年間の学費 62,500 円を支援
 【開始年度】 2016 年 3 月
 【里子数】 (2017) 6 (2018) 8
 【里親数】 (2017) 6 (2018) 8



モーリタニア

【対象】 5～15 歳（中学生）の孤児もしくは貧困家庭の子ども
 【支援期間・金額】 毎月里親会員 3,000 円・サポート会員 1,000 円。この会費の 8 割が養育費となる。コレージュ（中学 3 年）を卒業するまで支援。
 【開始年度】 1997 年 10 月
 【里子数】 (2017) 13 (2018) 14
 【里親数】 (2017) 6 (2018) 7



ルワンダ

【対象】 ニューホープ技術専門学校に通う孤児・貧困者
 【支援期間・金額】 1 年間 30,000 円
 【開始年度】 1999 年 1 月
 【里子数】 (2017) 57 (2018) 53
 【里親数】 (2017) 56 (2018) 60

その他実施国：インド、カメルーン、スリランカ、ホンジュラス

奨学金制度

国名	対象	支援期間・金額	開始年度	奨学生	
				2017	2018
アジア					
スリランカ	成績優秀ながら貧困家庭の高校生、大学生、専門学生	高校生：年間 12,000 円を原則として 2 年間 大学生：年間 22,000 円を卒業まで	2002 年 11 月	24	26
アフリカ					
ガンビア	成績優秀で就学継続困難な中学 1 年～高校 3 年	中学生は年間 7,000 円、高校生は年間 15,000 円	1995 年 9 月	68	67
ザンビア	優秀だが貧困のため学費の払えない国立デビッド・カウンダ・テクニカル・ハイスクールの生徒	年間 60,000 円を学費と寮費として、3 期に分けて支援。	2013 年 9 月	10	3
中東					
ヨルダン	大学生	年間 500,000 円	2001 年 11 月	14	12
パレスチナ	イゼルディン・アブエライシュ医師が創設した「ドーターズ・フォー・ライフ財団」が支援するパレスチナ出身の女子大学生	2017 年に 8,000 ドルを財団に寄付。			

その他実施国：ウガンダ、モーリタニア

里子たちの感謝の声



ルワンダ

ニューホープ技術専門学校卒業生で三角弘子さん（WFWP 福岡第 1 連合会、写真右）の 2 人の里子が、2018 年 10 月 19 日に開催された「ニューホープ技術専門学校創立 20 周年記念式典」にて、卒業生を代表して感謝のメッセージを里親の三角さんの前で述べました。

ウィネジア・イマキュリー（中央）

「内戦で両親を亡くし、虐殺孤児となり、夢も希望もなかった時、ニューホープ技術専門学校の学費支援のおかげで入学でき、卒業し、レストランのシェフを任せてもらうようにまでなりました。その後結婚して、家

族の支援もできるようになりました。この支援のおかげで、虐殺後孤独だった私に生きる自信を与えてくれ、考えもしなかった将来を描かせてくれました。学校が私を支えてくれたように、今度は私が学生たちに学外実習の機会を与えてあげることができるよう支援したいです。」

ニシムウェ・ジャン（左）

「虐殺で両親を亡くしましたが、何とか生き残り、故郷に帰って、修繕した家に住んでいると、家族を殺した敵民族が、故郷に帰ってきました。僕が家の中にいる時に、家を焼かれました。何とかそこから生還し、しばらく入院して、ようやく退院。唯一の親族のおばさんのところに行くと、その夫から同居を断られ、行く当てもなくストリートチルドレンとして生活していました。その時に、ニューホープ技術専門学校の前学長に町で出会い、『現状から抜け出すために学校に来て勉強しなさい。』と言われ、里親に支えられ、何とか卒業し、自分で起業することができました。ニューホープの支援がなければ今の自分はありません。」

現在は、VIP なども相手にするやり手の美容師に成長した。在学中唯一の頼りだった里親の三角さんの写真を携帯の待ち受けにして大事にしている。